

# ARCH

[アーチ]

大東文化大学

## 青桐会

あおぎりかい

2023

VOL.95





# 2023年度 全国校舎見学会を開催しました!

2023年9月16日(土)、青桐会本部主催の全国校舎見学会が東松山校舎にて開催いたしました。

晴天のもと全国から200名を超える方々にご参加いただきました。

見学に先立ち、希望者は学食でランチを食し、全体説明会では会長、学長の挨拶に続き

ピアトリクス・ポターのお話を聞き、東松山校舎の概要を説明していただきました。

施設見学では、参加者が10班に分かれ、学生の皆さんの案内によりキャンパス内の各施設を回りました。

広大な敷地に驚き、普段自分の子供たちが学んでいるところを見学でき、

大変有意義な時を過ごすことができました。



<全体会 60周年記念講堂>



<2班集合写真>



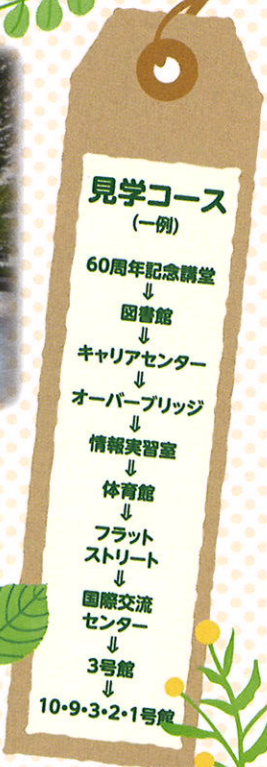
<見学風景-1>



<オーバーブリッジ>



<見学風景-2>



## 見学コース (一例)

- 60周年記念講堂
- ↓ 図書館
- ↓ キャリアセンター
- ↓ オーバーブリッジ
- ↓ 情報実習室
- ↓ 体育館
- ↓ フラット
- ↓ ストリート
- ↓ 国際交流センター
- ↓ 3号館
- ↓ 10-9-3・2-1号館

## ご挨拶

「未来へ向けて、さらなる発展をめざして」

大東文化大学青桐会 会長 杉田 由理



会員の皆様には、日頃より青桐会の活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年も全国各地で自然災害が多発しています。被災された

ました会員の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の5類への移行により行動制限が緩和され、以前のような日常が戻ってきました。感染症は完全に終息していませんが、感染対策を行った上で、5月に定期総会は対面開催することができました。さらに、7月～8月にかけて開催の全国支部総会についても大雨による中止に伴い書面議決とした秋田県支部を除き、全ての支部で対面開催することができました。支部長はじめ各支部役員の皆さま、そして参加して下さった皆さまに、心から感謝申し上げます。

また、9月には全国校舎見学会を東松山キャンパスにて開催、全国から多くの会員の皆様にご参加いただき学食も利用していただきました。学生の皆さんの案内によりキャンパス内の各施設を回り緑美しい、素晴らしい施設を誇る東松山キャンパスを体感していただき好評でした。次年度は板橋キャンパスでの校舎見学会を予定しております。さらに、11月には、キャリアセンターのご協力を頂き、全国就職懇談会を開催いたしました。子どもが大学に入学して保護者の一番の関心事は、「子どもの就職」

ではないでしょうか。就職環境は常に変化しており、就職活動と採用活動の最新動向やキャリアセンターの支援や協力できるような、これからも大学のご協力をいただき開催を続けて参ります。就職懇談会開催の様子は動画配信をおこなっております。秋以降に開催される全国レベルのスポーツ大会や文化部の発表会において、応援や支援を行ってまいります。これまで多くの学生たちの努力と挑戦を目にしてきました。自分の成果を發揮し、大会で一層輝く姿を見ることが、喜びであり、誇りでもあります。学生たちの活躍や成長を後押しし、スポーツ、文化活動の発展に取り組んで参ります。この度、大東文化大学は創立100周年を迎えました。大学は「文化で社会をつなぐ大学」というミッションとして「真ん中に文化がある」というテーマを策定し、さらなる高みを目指しており、その実現に向けて青桐会として会員の皆さまと共に大学で学ぶ学生たちのために様々な活動を行って参りたいと存じます。そして、記念事業の一環として100周年記念事業募金の「学生支援」に寄付を行いましたことをお伝えいたします。未来を担う学生たちへの支援拡充に活かされることを期待しております。今後一層のご支援とご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。会員の皆さまと協力し、より良い未来に向けてさらなる発展をめざして活動を進めて参ります。引き続き、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

## ご挨拶

「次の100年へ」

大東文化大学 学長 高橋 進



日頃より、青桐会の皆さま方には、大東文化大学の様々な活動にご理解、お力添えを賜り、深く感謝を申し上げます。

本年、本学は創立100周年を迎えることができました。それも偏に青桐会の皆さま方が、60余年の間、共に大東文化大学のために真摯に寄り添って下さったお陰であると改めて実感しております。

さて、本年度は、新型コロナウイルス感染症の終息がまだ見られない状況の中ではありますが、青桐会の活動も以前のように活発に実施されていることは、私たち教職員にとっても頼もしい限りでございます。と同時に、総会、支部総会、校舎見学会、スポーツの大会、各種イベント等において皆さま方とお会いできることを本当に嬉しく感じております。また、皆さま方に応援を戴いている本学学生の実に晴れ晴れしい姿を見るにつれて、青桐会の存在に感謝と感激を覚えるばかりであります。

先述しましたように、創立100周年の節目を迎えた本学は、次の100年に向けて、新たな歩みをスタートしたことにもなります。大東文化大学らしい発展と前進のために私たちも努力をしております。青桐会の皆さま方にはこれまで多大なご支援を戴いておりますが、引き続きご協力とご支援を承りますようお願い申し上げます。

# 目次

「2023年度全国校舎見学会を開催しました!」…………… 2

ご挨拶…………… 3

大東文化大学青桐会 会長 杉田 由理

大東文化大学 学長 高橋 進

「ARCH 表紙について」…………… 7

2022年度後半の本部行事・応援風景です。「大学との意見交換会」「全国就職懇談会」「富士山女子駅伝」「伊勢路駅伝」「箱根駅伝」とコロナ禍でしたが、駅伝は久しぶりに沿道で応援することが出来ました。

青桐会ホームページ…………… 8

様々な情報を提供しています。まだ、HPをご覧になられていない方は是非チェックしてみてください。

http://www.daitoogiri.com/

「メニュー画面→会員TOP→パスワードはaogiri2023」

「2023年度全国校舎見学会を開催しました!」…………… 8

ご挨拶…………… 8

大東文化大学青桐会 会長 杉田 由理

大東文化大学 学長 高橋 進

「ARCH 表紙について」…………… 7

2022年度後半の本部行事・応援風景です。「大学との意見交換会」「全国就職懇談会」「富士山女子駅伝」「伊勢路駅伝」「箱根駅伝」とコロナ禍でしたが、駅伝は久しぶりに沿道で応援することが出来ました。

青桐会 応援活動のご紹介…………… 7

キャリアセンターからのご案内…………… 8

保証人用Web成績通知について…………… 8

編集後記…………… 8





大学創立100周年特別企画  
高橋学長インタビュー

高橋進（たかはしすすむ）昭和35年東京浅草生まれ。専門分野はスポーツ科学。2023年4月、学長に就任。柔道7段。

**広報** 本日はお忙しいなかお時間をありがとうございました。ありがとうございます。まずは大学創立100周年への思いを聞かせていただけますでしょうか。

**学長** まずは1923年に大学ができてから、大正・昭和・平成・令和というそれぞれの激動の時代を、学生・保護者の方々・地域の方々と乗り越えることができたという喜びを率直に分ち合いたいなと思います。

ご存じのように1923年は実は関東大震災のあった年なんです。そして、2回の大きな大戦を経て昭和の激動の時代を迎えながら、歩みを止めずにここまでこれたというのは教職員だけでなく、学生・保護者のおかげだとつくづく感じております。

ちょうどこの100周年にかかるころで、未曾有のコロナウイルスが発生しまして、ある意味関東大震災に匹敵するような大きな事件でもあり、保護者の皆

さまもこの難局をどう乗り越えようかという迷いのなかで苦心をされながらお子様と一緒に乗り越えることができたのかなと思います。

私たち教職員だけではこの100周年を迎えられなかったと思います。卒業生のために、2代3代続けて本学を選んでくださっている卒業生のためにも、次の100年に向けて私たちが努力していかねばならないと感じています。

**広報** 「真ん中に文化がある。」というコピーがとても印象的です。  
**学長** 100周年のテーマが、「真ん中に文化がある」ということで、大東文化大学ってどんな大学なの？漢字が並んで堅いイメージ？そういう思いで入ってきている学生も多いと思います。また、保護者の皆さまも大学の成り立ちや進歩に関しては詳しく知らないというのが現状ではないかと思っています。

いう出逢いができた、充実感をもって卒業してくれば、確実に生き残っていきけるのではないかと思います。  
これからは学び直しの時代になってくると思うのです。まさに「リカレント」という言葉が当たり前になってきましたけれども、おそらく大学を卒業しているようなキャリアを積んだあとに自分の「このキャリアが必要だよ」ということになった時に大学に学び直しに手軽に来れるような環境が絶対的に必要になってくると思います。

学生の視点でいうと、本学の特徴でもあるのですけれども多様な価値観をもつ人と出逢えるというのは非常に重要なことだと思っています。いろんな学科があつていろんな学生がいて、クラブ・サークルに入ってもそうかもしれませぬ。「ちょっと違う人間だよな」「こんな学生がいるんだ」という刺激が社会にでたらすごく有益になるんですね。だから多様な価値観は留学生も含めてですが、そういう集合体としての大学がベターではないかと思えます。学生だからできる経験、これは充実させていきたいですね。学びの経験を内向きだけじゃなくてこれ



だけ社会に目をむけることができるかというところで、その環境をどう整えていくかということ、学生が満足できるのか満足できないのかということが決まると思っています。  
興味があつた分野とか、嫌いな科目もありまふよね。しかしながら大学にきてみてみようがなく教養の授業とつたけど、「ちょっとおもしろいじゃない」という新たな学びへの気づきが化学変化を起こしていく、「思考の化学変化」ですね、それが起きるような環境づくりが重要かなと思います。そういう経験をすることで「大学に来て良かった」と学生は感じられると思います。  
※「リカレント (Recurrent)」とは、「繰り返す」「循環する」という意味で、リカレント教育とは、学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すこと。

**広報** 最後に、さらに良い大学にするための中期的な戦略がありましたらお聞かせいただけますか。  
**学長** 今後18歳人口がどんどん減っていくなかで我々も中期的な戦略を立てています。「大東ビジョン2033」を中期的な戦略の柱にしているのですけれども、これは明確でありますので若干お示しさせていただきます。

まず学生募集面の課題への対処。特に学士課程における学習募集面の課題への対処ということで受験生や高校への情報伝達の強化。今の世代はSNS世代なので、紙媒体で情報を示すこと以外にSNSで情報伝達していくのが重要なんです。時代のニーズに対応した情報伝達の強化がまさにいま課題なのかなと思えます。カリキュラムであるとか、インターンシップも含めた進路就職指導の徹底であるとか、入り口から出口のところまで、保護者の方が安心して「大東大に行きなさいよ」「大東大にいけば安心して大学卒

「漢学振興」つまり日本の伝統的な学問ですが、明治維新から西洋の文化がどんどん入ってきたので、国が応援して議会で設立した大学なんです。ですからアジアの文化を中心にしてというのが開学の目的でした。と同時に当時から東洋文化だけではなくヨーロッパなどいろんな文化を吸収してその文化を融合させたなかで自分たちで新しい文化をつくっていくという、今でいう「ダイバーシティ」を実現してきた、ある意味それを理念としてこまできた大学なんです。ですから古いようで新しい。「文化に囲まれたなかに我々がいるんだ」という実感があつて100周年のテーマが決まりました。歴史と成り立ち、100周年を迎えるのコンセプトを学生にも伝えていきたいなと思つています。

学生たちが自然とその思いにこたえてくれているなと実感しています。他大学の学生に比べて本当に優しい。思いやりがあつて、自分の友達を放つておけないとか、困った人がいるときにボランティアにでかけていったりとか、東日本大震災が起きてから12年。この震災でお亡くなりなられた方々にとっては13回忌にあたります。東松山市と本学は当初から支えあつていて、地域連携協定を結んでいまして。東松山市とあわせてトライアングルで支援している状況です。学校が用意してボランティアに参加することは、どの大学もやつていっていることですが、12年経つた今でも、式典が東松山市でありましたが、学生個人で式典ボランティアに行つてるんですね。

実は3月に東松山市を訪問したときにその状況を地域の方にお聞きして「素晴らしいな」と。自らそのような行動ができる学生は誇りだと思つました。そういった側面がたくさんあつて、我々には見えない部分で学生は頑張つていらっしゃる。競争社会だとずつと言われてきましたけれども、これからは競争というよりも共生の社会、ダイバーシティの社会で

業できるよ」と言つていただけると、いろいろな課題はありますが、ひとつひとつ塗り潰していきたいと思つています。  
次にオンライン技術やICTの活用。現在、授業は基本原則対面にしてるんですけど、ただ、場合によってはオンラインでの授業の方が効果が高いというものがございまして。オンライン環境が100パーセント充実していたらいいなと、教室でWiFiが入りづらかったりとか、来春WiFi環境は解消できます。それからデジタル技術の変革、DXへの対応というのも当然ながらこれからの課題となつてきます。

高大連携はある意味形骸化が認められますが、高大連携だけでなく高大提携というような考え方にシフトしていくことも重要だと感じています。これは当然狙つていきたい偏差価値帯の高校と、学びの分野を大学でできるような深い関係、指定校の枠を10人とか、そういう関係性を作っていくということも必要になってくることを示唆しています。そういった部分への働きかけと検証は重要だと思つています。  
2010年から2020年の10年間で私立大学の大学院、前期課程ですが、入学者が人文科学系で33%減つてるんですね。社会科学系でも27%減つています。おそらくこういふことは今後も続く可能性があるでしょう。大学院はなれをしていくという現状もあるんですね。これはキャリアとの関係もあります。理工系は逆にいうと大学院に進学しないと、あるいは社会科学系とか人文科学系は大学院に進学してしまうと就職できなくなつてしまうという不安をもつていて、学生もそうですけど親御さんでもそう思つていて。この問題は本学だけではなくて文部科学省も含めた日本の社会全体の課題なんです。こもしつかり対応していくべきでしょう。大学院でのインターンシップの充実が必要であり、大学院の出口のところを強化していきながらそこに対応

すから、本学の学生はそのなかでうまく地域社会あるいは隣の方とのコミュニケーションのなかで新しい社会を作つていけることができるのではないかなと思つています。本学の何が一番いい点ですか？大学の特徴ですか？と聞かれたときに、真つ先にそれをあげたいなと思つています。

**広報** 創立100周年事業をきっかけに、さらに魅力ある大学、卒業して良かったと思える大学となるよう私たち青桐会も微力ながらお手伝いさせていただきます。ありがとうございます。

**学長** 2040年には18歳人口は80万を切るんですよ。現在約100万人余ですから激減するわけです。「卒業して良かった大学」これを実現していかないと生き残りができないと思つています。地方ですでに大きな定員割れが起きています。そういう時代に突入していきつていくことを考えながら、大学として何をしていくか。答えは簡単で、学生が、大東文化大学に行つたおかげでこういう経験ができた、こういう就職ができた、こう



していかざるを得ないでしょう。さきほどから様々な環境作りの話をさせていただきましたが、青桐会はじめステークホルダーのニーズをききつつ受け取つて、一緒にそういう環境を作つていくということも、ファンを作ることになりますから、大切なことと思つています。お母さんお父さんたちがファンになってくれると、子どもは「知らないよ」と言つてられない。親の喜んでいる顔を見ることが子どもはだんだん大人になっていきすよね。そうすると、「あ、ここにきて良かったな」「将来自分の子どもも入れようか」と長いスパンで考えていくとそういう循環ができてくるわけですからそれも戦略のひとつかなと思つています。

**広報** 本日はお忙しいなか貴重なお時間をありがとうございました。これからも青桐会をよろしく願っています。

(取材：広報分科会)  
杉田由理・近藤慎男・永井文子・下堂蘭賢二





# 青桐会 応援活動のご紹介

## ～第17回全日本学生テコンドー選手権大会～

日時；2023年9月10日(日)  
場所；山梨県甲府市小瀬スポーツ公園体育館



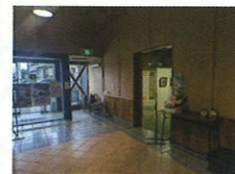
テコンドー部のコーチよりルール説明をいただきながら、白熱した試合を観戦しました。本学から16名の選手が出場し、個人成績は優勝5名、団体戦では見事8連覇を達成しました。パリオリンピックへの出場も期待したいです。

## ～臨書展・第101代大東文化大学書道部～

日時；2023年9月23日(土)・24日(日)  
場所；川越観光館小江戸蔵里ギャラリー



洒落たギャラリーで、入口の雰囲気も落ち着きを感じられました。幹事長にご案内いただき、様々な書体について説明を受けながら鑑賞しました。11月開催の全国書道展も楽しみです。



## ～第100回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会～

日時；2023年10月14日(土)  
場所；陸上自衛隊立川駐屯地～立川市街地～国営昭和記念公園

今回100回の記念大会のため、関東以外からエントリーした11校を含む57校が参加し、上位10人の合計タイムで順位を競いました。結果、本学が1位で、合計10時間33分39秒のタイムでした。この調子で、本選では必ずシードを勝ち取っていただきたいです。



## ～第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会～

日時；2023年10月29日(日)  
場所；宮城県仙台市

12時10分に弘進ゴムアスリートパーク仙台(仙台陸上競技場)をスタートしました。今回は6人中5人が1年生の若いオーダーとなりました。前半はなかなか力が発揮出来なかったものの、後半4区で追い上げ、最後6区のスプリント勝負を制し2位でフィニッシュしました。これで12月30日に富士宮市～富士市にて開催される全日本大学女子選抜駅伝競走の参加権を獲得しました。



# 地域ブロック選出の本部役員より一言

2024年度の各地域ブロックより選出された常任理事を紹介します！  
皆さんには1年間、本部役員として事業運営にご協力いただきます。

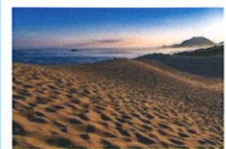


- 【質問】 ①青桐会の活動に参加したきっかけは？  
②参加してどのように感じましたか？  
③会員の皆様に一言お願いします！

### <中国ブロック>

小林 睦

- ①知人のお子さんが大東生という繋がりがりから役を引き受けることにしました。
- ②大学保護者会の組織の大きさに驚きました。都会の大学と地方の大学の違いを感じました。
- ③本部役員2年目です。地方故にお手伝いできることも限られますが、大学のために微力ながら頑張りたいと思います。宜しくお願いいたします。



<鳥取砂丘>



<雪景色の鳥取砂丘>

### <北信越ブロック>

押澤 あゆみ

- ①青桐会の役員さんより保護者会の案内があり、家族が参加したのがきっかけです。
- ②大学に保護者会がある事と、校舎見学会に参加し、大学のスケールの大きさに驚きました。
- ③日本全国から集まった志の高い保護者の皆さんと一緒に、学生の皆さんを応援出来る貴重な経験をさせていただき感謝しています。長野県の山奥から、どこまで学生と会員の皆さんの為に活動できるか不安もありますが、精一杯協力させていただけたらと思います。



<国宝 松本城>



<白馬八方尾根 八方池>

### <北海道・東北ブロック>

高橋 貴代江

- ①2022年に北海道支部総会に出席し、「楽しく一緒に活動しましょう」とお声がけ頂き参加しました。
- ②全国に会員様がいて、各地域の方が各分野で協力合せて、意見を出し合せてより良い会を目指しているのだと思いました。
- ③まずは青桐会を知っていただきたいと思っています。年間を通してイベント・活動があり各支部、本部とも協力合せて皆様に発信していきますので、お時間、興味がある方は参加して頂き楽しさを共有できたら嬉しいです。そのお手伝いが少しでもできたらと思います。



<阿寒湖>



<陸上部の北海道合宿>

### <九州・沖縄ブロック>

下堂 蘭 賢二

- ①2022年7月に開催された宮崎県支部総会に出席したのがきっかけです。
- ②全国校舎見学会に参加した際、全国から集まった会員さんや支部長さんと交流するなかで青桐会に親近感を持ちました。本部役員やスタッフの皆さんの誠実な対応が印象的でした。
- ③我が子を育ててもらっている大学に恩返しをするつもりで、楽しみながら活動させていただきます。会員の皆さま、引続き青桐会活動へのご協力をよろしくお願いいたします。



<高千穂の夜神楽>



<高千穂峡>

### <近畿ブロック>

遠藤 勇人

- ①10年前、長男の大学で親の会に参加して、さまざまな支援活動を経験しました。それはとても良い経験だったので、今回も参加させて頂きました。
- ②皆、熱心に子供達のことを応援して、とても楽しい集まりだと思います。
- ③社会人となり、独り立ちした子ども達は、もう親の支援は必要としません。でも、自分たちの学生時代を振り返ってみれば、大人になりかけの、本当に不安定な時期だったことを思い出します。青桐会は、私たちの子供達が巣立つ前の、最後の支援の場だと思います。ぜひ、一緒に応援しませんか。



<兵庫県支部総会>



<神戸風景>

### <東海ブロック>

磯部 裕正

- ①地元富士で毎年、12月30日に「富士山駅伝」が行われます。応援して大学を盛り上げたいと思い、参加しました。
- ②コロナ渦で3年間、駅伝応援できませんでしたが、昨年制限はあったものの、気持ちを一つに大東を応援することができました。
- ③他県の皆様と交流ができ、楽しく参加しています。子供たちのためにも少しでもお役に立てればと思います。1年間よろしくお祈りいたします。



<富士山>



<駿河湾初日の出>





# 2024年1~2月キャリアセンター就職支援行事

※現在3年生対象

1月	行事名	内容
11(木)	履歴書写真撮影会	学内にプロカメラマンをお招きします。特に航空・マスコミ・金融業界志望者にオススメの撮影会です。※有料
12(金)		
16(火)	採用担当者との面接練習会	採用担当者による模擬面接を体験できます。本番前に面接練習できる数少ない機会です。
17(水)		
18(木)		
19(金)	業界別ガイダンス(マスコミ)	出版、マスコミ、広告、イベントなどに興味がある学生向けに、選考対策や企業の探し方、オススメ企業の紹介をします。
	業界別ガイダンス(IT)	文系学生にはわかりづらいIT・情報産業における具体的な仕事内容や職種、働き方についてキャリアアドバイザーが解説。企業の探し方やオススメ企業も紹介します。
22(月)	業界別ガイダンス(金融)	金融業界に精通した本学のキャリアアドバイザーが詳しく説明します。学内就職セミナー参加企業についても解説。
23(火)	業界別ガイダンス(食品)	食品メーカーや商社など、大東生に人気の食品業界や食に関わる仕事ができる企業の探し方とオススメ企業を紹介!
23(火)	業界別ガイダンス(商社・メーカー)	大東生に人気の業界である商社・メーカーについて、選考対策や企業の探し方、オススメ企業の紹介をします。
24(水)	業界別ガイダンス(事務職)	事務職の仕事内容、事務職募集が多い業界、事務職募集求人探し方、事務職の志望動機の作り方などお伝えします。事務職志望者必見です!
25(木)	業界別ガイダンス(休日数や収入重視)	土日休み・賞与などが良い企業の見つけ方と、求人検索NAVIや情報サイトなどでの検索方法についてお話しします。

25(木)	業界別ガイダンス(半官半民・団体・公社)	仕事内容が公務員と近い半官半民の団体や公社を紹介。公務員、事務職志望者必見です!
26(金)	大東大指定履歴書&就職セミナー活用法	大東大指定履歴書に特化して、長年、大東生の就活支援をしているキャリアアドバイザーが書き方のコツをお伝えします。学内就職セミナーに参加するオススメ企業の紹介など活用法も伝えます。
29(月)	優良企業の見分け方	企業のHPや求人、マイナビなどの採用情報の「どの部分を見れば優良企業とわかるのか」専門講師が解説!

2月	行事名	内容
1(木)	WEB学内就職セミナー	「大東生を採用したい」企業・団体300社を招いたWEB合同企業説明会
2(金)		楽天カード、りそな銀行、JRB東日本、スターバックスコーヒージャパン、東京メトロ、マルハニチロ、山崎製パン、ハピネット(パンダイナムグループ)、キングジム、良品計画(無印良品)、アシックスジャパン、日本年金機構など。市役所などの公務員団体も16団体が参加予定。
5(月)		
6(火)		

中旬(予定)	面接見学会	人気企業の現役人事担当者を講師に招いて公開模擬面接を実施。面接でどんな風に答えるのか、深掘りされたらどう切り返すのかリアルにお見せします!
29(木)	3/1からの動き方	就職活動解禁日となる3/1以降、どのように活動すればスムーズに内定獲得できるのかお話しします。

▶この表は、2025年卒業生(現3年生向け)の行事です。  
▶キャリアセンターでは上記以外にも、インターンシップ合同説明会、公務員講座など年間を通じ、さまざまな就職支援行事を行っております。ぜひ、ご家庭からも参加を勧めてください。

## 編集後記

今年度の広報誌「ARCH」をお届けします。今号では、2023年度新たに学長に就任されました高橋学長インタビューを特集しました。大学創立100周年に関する学長の思いが詳しく掲載されています。ぜひ読んでみてください。  
校舎見学会やスポーツ応援等の様子の写真と一緒に紹介しています。ぜひご覧いただき、興味を持っていただけたら実際に活動に参加してくださいと嬉しいです。  
広報誌を通じて青桐会の魅力と活動をご理解いただけることを願っております。読者の皆さまにとってより身近な存在となるよう努めてまいりますので、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

編集委員 委員長: 杉田 由理  
委員: 下堂園 賢二・近藤 禎男・永井 文子

## 『保証人用Web成績通知について』

2023年度前期の成績発表から、大学のDBポータルを利用したインターネット上で、学生の成績を確認することができるようになりました。  
DBポータルのログイン手順や操作方法等については、大学のHPを確認してください。  
なお、インターネット上で成績公開を開始することに伴い、成績通知書の郵送は行われませんのでご注意願います。

※2023年度後期:2024年3月5日(火)10:00予定

大東文化大学青桐会 ..... この広報誌はHPの会員サイトに掲載されていますので、ご覧ください。

〒175-0083 東京都板橋区徳丸2-4-21  
大東文化会館2階  
TEL 03-3936-6464  
FAX 03-3936-6465  
E-mail daitofki@galaxy.ocn.ne.jp

発行日=令和5年12月15日 通巻第95号  
編集・発行責任者=杉田 由理  
写真提供=大東文化大学スポーツ大東編集部  
デザイン・印刷=有限会社栄章  
発行=大東文化大学青桐会

0120-37-3583

青桐会へのご意見・ご要望・お問い合わせはフリーダイヤルへ

